

合角ダム

～水没した地区にちなんで名づけられたダム～

形式は重力式コンクリートダムで、ダムの高さは60.9m、
総貯水容量は1025万 m^3 あります。



合角ダム



ダム管理所付近の紅葉



洪水吐から越流している様子

事業目的

合角ダムは、吉田川総合開発事業の一環として秩父市吉田と小鹿野町にまたがって建設されたもので、複数の目的を持つ多目的ダムです。合角ダムの事業目的の内容は以下の3つです。

洪水調節	ダム地点の計画高水流量毎秒460 m^3 のうち400 m^3 をダムで調節し、ダム下流域の洪水被害の軽減をはかります。
水道用水の補給	水需要の増大化に対処するため、埼玉県・深谷市・寄居町・小鹿野町の上水道用水として、新たに毎秒1.0 m^3 の取水を可能にします。
既得取水の安定化・河川環境の保全	流域の漁業、景観、動植物の保護のため、渇水時においても維持しなくてはならない流量と、ダム下流の吉田川及び赤平川で取水しているかんがい用水・上水道用水のために必要な流量を確保します。

▶ 合角ダムとは

手作りロケット（龍勢）で知られる秩父市（旧吉田町）の吉田川の上流、上吉田地区にあるダム。ダム本体は秩父市ですが、湛水地域は隣の小鹿野町にまたがっています。形式は重力式コンクリートダムで、ダムの高さは60.9m、総貯水容量は1025万 m^3 あります。このダムの建設でできた人造湖が「西秩父桃湖」です。ダムの右岸には湖を巡視するための巡視船「かっかく」とゴミ処理を行う集塵船「りよくすい」を格納する艇庫があります。艇庫から湖面までは専用のインクラインが伸び、艇はこのインクライン上をスライドして出動します。

ダムのそばにはコテージや体育館、入浴施設を備えた「吉田元気村」や、湖の四季の移ろいを楽しみながら手打ちそばや期間限定のごうかくダムカレー、通年では合角ダムカレーが味わえる店があり、行楽スポットになっています。

所在地：秩父市、小鹿野町	堤高：60.9m
ダム形式：重力式コンクリートダム	堤頂長：195.0m
完成：平成15年	堤体積：17万 m^3
総貯水容量：1025万 m^3	事業者：埼玉県

ダム諸元



合角ダムカレー

▶ 水特法により整備された吉田元気村の木質バイオマス発電施設

バイオマスとは、再利用できる動植物から生まれた有機性の資源のことで、石油などの化石燃料と対比して、「生きた燃料」ともいわれています。地球規模でみてCO2バランスを壊さない、地球に優しいエネルギーです。

秩父市にある吉田元気村では、間伐材や森林残材などを燃料とする木質系バイオマスを発電に利用しています。

秩父地域の87%を占める森林の保全と再生のため、未利用バイオマスである間伐材等の木質チップを利用した日本初の木質系バイオマスガス化・ガスエンジンコジェネレーション施設を設け、発電事業を行っていました。

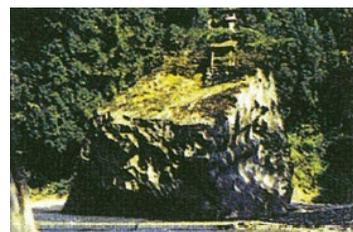
2014（平成26）年3月15日に発生した火災により、現在は稼働を停止していますが、見学は可能です。



木質バイオマス発電施設の見学

コラム 伝説の巨岩「天狗岩」

昔、日照り続きで吉田川（藤倉川）の水が枯れ、村人が水争いを始めたとき、怒った天狗が山の上から岩を投げ落とし、水の大切さを村人に教えたという伝説が伝えられています。故郷の思い出を残すためにと、保存の声が上がりましたが、あまりの大きさに実現しませんでした。



水没前の天狗岩

アクセス

合角ダム

交通：西武池袋線「西武秩父駅」より、
西武観光バス「秩父吉田線・吉田元気村」行き利用、
終点の「吉田元気村」で下車し、徒歩約10分

住所：埼玉県秩父市上吉田4850-1



合角（かっかく）ダム